

介護あんしん 相談員だより

第29号 平成29年7月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員は、ご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きしたり、客観的な目で見えたりした点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。



利用者様や介護あんしん相談員の声からいくつかをご紹介します
(平成29年3月・4月・5月)



～介護あんしん相談員の声より～

相談員：スタッフが利用者の側で、記録ばかり書かれていますね。

施設：重症の方ばかりで会話にならないので、行動は目で追いながら見守りしています。



【鳥栖地区広域市町村圏組合より】

「見守る」とはどういう意味なのでしょう。

この言葉は、介護あんしん相談員の方から投げかけられた言葉でした。

見守ること。気をつけて見ること。安全な状態にあるかどうかについて注意をはらうこと。地域による高齢者の見守り。など「見守る」ということを考えさせられました。

気をつけて見るということは、ジーッとずっと見ていることでしょうか。安全な状態にあるかどうか、注意をはらう事は、外出先にもずっとついて回ることでしょうか。極端な話ですが、それは監視とどこが違うのでしょうか。

いくら相手のことが心配だとしても、じっと側で行動を見られていられたらストレスがかかってしまうこともあるのでは？とも考えました。

見守りながら記録をするのと、時間を取って集中して記録するのでは、利用者様にとってどちらが良いのでしょうか。

現場の記録も大変だと思いますが、必要な時、利用者様が訴えている必要な時に手をさしのべられる見守りであって欲しいですね。

その時々で状況は様々だと思いますが、利用者様の耳は寝たきりの方でも、聞こえているはず。側にもいいですか？など思いやりの声をかけてみてはいかがでしょうか？表情には出せなくても、心にはきっと届いていますね。



～利用者様の声より～

利用者：気分転換をしたいです。私は、足はしっかりしているから、どこかに出かけられないかしら。買い物にも行きたいわ。

施設：外出支援は、外部サービスでヘルパーさんを依頼してもらわないといけなくなります。そうすると介護保険の関係でデイサービスの時間が減り、一人でいることが増えてしまいます。



【鳥栖地区広域市町村圏組合より】

こちらの利用者様は有料老人ホームにご入居されている方です。まだまだお元気な方ですね。気分転換をしたいということですが、外出することで他の利用者様と話す際の話ができるかもしれません。外に出て買い物をすること、歩くことは身体的・精神的に活発になることだと思います。

一人でいることも時には必要ですし、それが自分の好きなこと、したい事をする時間ならばなおさらです。「デイサービスの時間が減る」……誰のためのプランでしょうか？

よかれと思って立てているプランは本当に利用者様が良いと思っているのかどうか吟味して欲しいです。

ご本人が外出をご希望されているので、ご家族と相談されデイサービスを減らしてもご本人のご希望が受け入れられるプランであって欲しいと思います。

利用者：若いころはバンドマンでピアノを弾いていた。今でも楽譜を見るとすぐに弾ける。

施設：一人で過ごされることが多い方です。バンドマンということは聞いています。



【鳥栖地区広域市町村圏組合より】

相談員が声をかけても、いつもは挨拶だけで話がなかなか進まなかったそうですが、今回は「昔はバンドマンだった」という話を生き生きとした表情でお話をされたそうです。しかし、こちらの施設にはピアノが無いということで、弾くことが出来ないと残念そうな顔をされたそうです。

バンドマンということは、もしかしたらジャズ音楽でもされていたのでしょうか。本当に素敵ですね。ぜひ聞かせていただきたいと報告書を読んで思いました。

もし可能であれば、紙のようなロールピアノや不要になったピアノの寄付などがあれば良いのですが……ぜひ夢をかなえてもらいたいなあと思いました。

また、他にも方法は色々あると思います。この頃流行っていて音楽を聴くことから始めても良いですね。この事を通してさらにコミュニケーションが展開すると思います。

こちらの利用者様が元気になるためのヒントがありましたね。本当に輝いていた時代に戻ってみたいなあ……をかなえてさしあげられるといいですね。指を動かすことで、リハビリ効果もありますね。利用者様にはそれぞれ人生の歴史があります。それを知ったうえで今の介護があるのではないのでしょうか。